

留 学 報 告 書

記入日:2017年9月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California Berkeley
留学期間	2017年5月～2017年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1～4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年8月24日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料		円	よく覚えていない
宿舍費		円	よく覚えていない
食費		円	よく覚えていない
図書費		10000円	
学用品費		1000円	
教養娯楽費		円	よく覚えていない
被服費		30000円	
医療費		0円	
保険費		40000円	形態:
渡航旅費		120000円	サンフランシスコ ² 日本のみ
雑費		円	よく覚えていない
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路: 成田-中国-サンフランシスコ、サンフランシスコ-中国-羽田

渡航費用

チケットの種類 エコノミー

往路 _____

復路 _____

合計 120000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

特になし

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学管轄の学生寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数1)

3) 住居を探した方法:

大学 HP から

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

自分の性格と向き合い、1人部屋にするか2人部屋にするか真剣に悩むべきだと思います

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題は特に発生しなかった

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友人や、地域別危険度を確認できるサイトで確認を行った

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

SIM Free であれば絶対に現地で SIM を確保したほうがいい。女性や道に迷いやすい方は特に。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本でプリペイドクレジットカードを発行した、それを現地の金融機関で現金が引き出せるので、必要に応じてカード会社指定の口座にインターネットバンキングを通じて送金する形をとった

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

ダイソーがあるのでほとんど困らないです

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

クレジット払い

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
特になし
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
現時点では商社業界に興味が高い
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例：留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
自身の志望業界に対して常にアンテナを張ることが重要だと思います。海外にいても情報はいくらでもネットで拾えますし、企業によっては Skype 面接など柔軟に対応してもらえるところもあります。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas
履修期間	6 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 3 回
担当教授	Meir Karinsky
授業内容	様々な事例を取り上げ、学術的にマーケティングを学ぶ
試験・課題など	中間、期末あり
感想を自由記入	非常にレベルの高いクラスだった。留学生でもわかりやすいような簡単な英語で説明して下さったことで理解しやすかった
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Leadership	リーダーシップ
科目設置学部・研究科	Haas
履修期間	6 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)

授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 3 回
担当教授	Daniel Mulhern
授業内容	実際のグループワークなどを通して、リーダーシップを学ぶ
試験・課題など	中間、期末共にあり
感想を自由記入	レベルの高いクラスが展開されていた。異文化におけるリーダーシップに当初から興味があったので履修してよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International and area studies	国際地域論
科目設置学部・研究科	
履修期間	6 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 2 回
担当教授	Scott Bailey
授業内容	映画を通して、国際的な時代背景を読み解く
試験・課題など	期末のみ
感想を自由記入	なかなか日本ではお目にかからないような映画ばかりで、新しい発見が数多くあった

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business English	ビジネス英語
科目設置学部・研究科	
履修期間	6週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、フィールドワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 3 回
担当教授	
授業内容	ビジネス上で使用するイディオムなどを中心に、実際のフィールドワークなども通じて学ぶ
試験・課題など	どちらもあり
感想を自由記入	実際にお店に足を運ぶ経験などは自分から思い立ってすることも無いと思うので、宿題でフィールドワークが課されてよかった

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	出願
2017年 1月～3月	トイック受検
4月～7月	5月渡航
8月～9月	8月帰国
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	以前より関心があった海外、特にアメリカ西海岸で生活を過ごしたいという思いがありました。というのも将来的にそういった地域で仕事をしてみたいといった理由があった為でした。自分の学生生活で足りない経験が留学だと感じ、行動に移しました。せっかく行くのであれば、優秀な学生が集い、自分をより追い込むことができ文化にも興味があるパークレーを選択しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力。英語を勉強しに留学に行くのではなく、英語で勉強をしにいくと考えることが日本人留学生には必要な思考だと思います。私は幸いにも日常的にアルバイト等で英語を使う機会は少なくなく、簡単な英会話はできる状態で海を渡ったので、ハードルはそこまで高くありませんでしたが、トイックスコアギリギリで渡米していた友人の苦労は計り知れないものだったと思われます。周りを見渡しても英語でコミュニケーションが図れないのは日本人くらいでした。中国人も同じアジア人とは思えないほど流暢に英語を扱いますし、ヨーロッパ人に至っては、英語は母国語と同じくらいの比重で教育を受けるので、他地域の学生が英語を扱えないことが理解できないようです
この留学先を選んだ理由	前途の留学理由にもあるように、以前からアメリカの文化に興味があり、現地でそれを体験したいと考えていました。ですので留学先の国を決定する段階でアメリカを選ぶことは心の中に決めていました。そして数あるアメリカの留学先の中で、自分の成長を追い求めサマーセッションプログラムでのパークレーを選択しました。学年を一切落とさずに進級してきた私にとって1年のブランクを作ることは容易であったとは思いますが、自分の中で一刻も早く社会に出て活躍したいという気持ちがあり、卒業年度が変わらず、日本でやりたい活動にも最小限の影響で済みそうなサマーセッションを選択しました。UC 系列でいくつか選択することができると思いますが、自分のなかでは1番きついやわられていたパークレー一択で、それ以外を選択するつもりは最初いからありませんでした
大学・学生の雰囲気	普通の学生にとっては夏休み期間なので、普通のセメスター期間に比べて学生の絶対数が少なかったらしいですが、それでも閑散としているというより、かなりの数の学生がいたように思いました。学生は非常に多才な方々が多く、博士課程の学生で1日中部屋にこもって勉強に明け暮れる人もいれば、完璧なプレゼンテーションをこなすアメフト部キャプテンなど、様々な学生がいた。全体的に、頭が良く、かつ社交性も兼ね備える学生が多かった印象が強かったです
寮の雰囲気	私が滞在した留学生向けのインターナショナルハウスは、週に1回交流する時間があり、そこでできた友人と様々なレジャーやスポーツなど娯楽を共にすることも多かったです。2人部屋だったため、片一方が寝てしまうと片一方に迷惑をかける形になるので、その点は不便を感じた時もありましたが、1人部屋はかえって寂しそうで2人部屋でよかったと感じました。
交友関係	前途のように、インターナショナルハウスを中心に、履修していたクラスの学生や、スポーツを通じてたくさんの友人を作りました。言葉なくともスポーツで仲良くなれたことは、この世界言葉だけじゃなく最終的には人間ハートなんだと実感した要因でした
困ったこと、大変だったこと	生活に関しては近くにダイソーがあったので、そこまで不便はしなかったが、やはり物価の高さや、食の疎さを実感した。
学習内容・勉強について	私は主にビジネス系の科目を履修していました。専門用語も多く、そもそも何を言っているのわからないこともありましたが積極的に質問や発言をする中で自分の疑問を解消していくことができました

課題・試験について	課題量はひとことと言えば絶望的で、受験よりも勉強していたと思います
大学外の活動について	日本で携わっている外資系企業の現地チームに参画していました
留学を志す人へ	自分から積極的に行動する癖をつけることがいい留学につながると思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
午後							
夕刻							
夜							